

「第47回福岡県伝統的工芸品展」を開催しました！ 福岡県伝統的工芸品振興協議会

去る9月2日（土）、3日（日）の2日間、福岡市中央区「ソラリアプラザ ゼファ」にて「第47回福岡県伝統的工芸品展」が開催されました。

本年度47回目となるこの催事は、日本の風土と歴史の中で育まれてきた県内の伝統的工芸品7産地（博多織・博多人形・上野焼・小石原焼・久留米緋・八女提灯・八女福島仏壇）が一堂に会して開催するもので、職人技術の粋を集めた作品の展示・販売等により、伝統的工芸品の魅力を広める為の場となっています。

まだ夏の暑さが残るなか、華やかなオープニングセレモニーと共にイベントがスタートしました。新型コロナウイルス感染症による規制が緩和されたこともあり、開場直後から多くの観光客等が来場。作品を鑑賞する人々で会場は直ぐに一杯になりました。

会場内では、作品の展示・販売のほかに、工芸品の制作が体験できるワークショップも開催されました。昨年の開催で好評を博した「八女提灯の絵付け体験」に加えて「上野焼のろくろ体験」も実施され、老若男女・国籍を問わず

多くの方にご参加いただきました。どの参加者も夢中で制作を楽しんでおり、その姿が非常に印象深く残っています。また、「アクロス福岡匠ギャラリー」との連携企画としてスタンプラリーを実施。今春リニューアルオープンされた匠ギャラリーでスタンプを捺しソラリアプラザの会場に持参すると、様々な工芸品が貰える抽選に参加できるという企画です。2日間を通して約200の方が参加し、景品が当たるたびに会場に歓声が沸いていました。

感染症を取り巻く世相の変化も後押しし、本年は非常に多くの賑わいを見せた展示会となりました。会場で実施したアンケートでは「複数の工芸品が天神でみられる機会は大変貴重、継続して欲しい」といったような嬉しい回答も多く見受けられ、本事業の意義を強く感じることができました。今後も伝統的工芸品の振興に繋がる事業の実施に取り組んでまいります。



上野焼のろくろ体験



スタンプラリー抽選会の様子